



成長投資を積極的に実行し、 長期的な企業価値の向上を目指します

「資本政策と株主還元」

- 健全な財務基盤を維持しつつ、成長投資と株主還元を通じて、資本効率の向上を図ります
- 株主還元は、DOE (株主資本配当率) を勘案して、安定した配当を目指します

上席執行役員
グループ経理財務統轄部長 **伊藤 洋**

中期経営計画「HOPE100-ステージ3-」における財務戦略の基本的な考え方は、①健全な財務基盤を維持しつつ成長投資と株主還元を通じて財務の効率化を図る②株主還元はDOEを勘案して安定した配当を目指す、というものです。

2021年度から実施された毎年の薬価改定は当社グループの利益水準に大変厳しい影響を与えます。このような環境下で長期的な企業価値の向上を図るためには、利益の源泉である新薬の継続的な上市が一層重要となります。そのため自社の研究開発および外部からの導入に従来にも増して積極的に投資し、開発パイプラインの拡充を図ります。あわせて設備投資によって必要な生産能力を高め、同時にコストの削減を図っていきます。

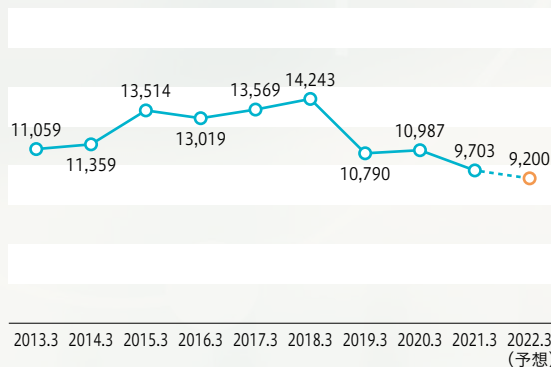
2021年5月に、2022年3月期以降の配当に

ついてDOEの水準を引き下げさせていただくことを発表いたしました。製薬企業は多額の投資が必要な新薬開発のリスクが高く、特許切れ等による業績の変動も激しいため、健全な財務基盤が企業の存続に不可欠です。2021年3月末現在の当社グループの自己資本比率は74.6%と健全な水準にあります。株主の皆様には、今般の配当の減額は、この財務基盤の健全性を維持しつつ、成長投資を積極的に行い長期的な企業価値の向上を目指すための施策としてご理解を賜りますようお願い申し上げます。また成長投資を実施するにあたっては、必要に応じて外部からの資金調達を活用し、長期的な成長の機会を適確に捉えていくようにいたします。

【研究開発費】

革新的新薬の創製を実現する、創薬力の強化とともに、中期的な成長を支えるパイプラインの拡充に向けた導入品を獲得するべく、積極的な投資を行っていきます。

研究開発費(連結)(百万円)



【設備投資】

品質・安定供給に資する効率的な生産拠点の建設や創薬・研究開発設備の充実等、中長期的な事業基盤の構築に向けた設備投資を行っていきます。

設備投資額(連結)(百万円)

